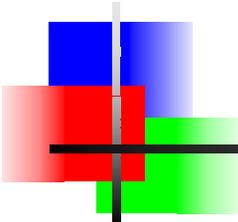


2009年3月期 決算説明会

2009年5月

東和薬品株式会社

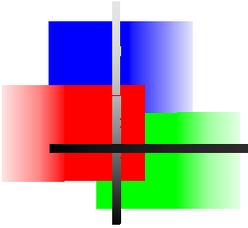
(証券コード:4553)



CONTENTS

・ 2009年3月期実績	2
・ 2010年3月期見通し	12

. 2009年3月期実績

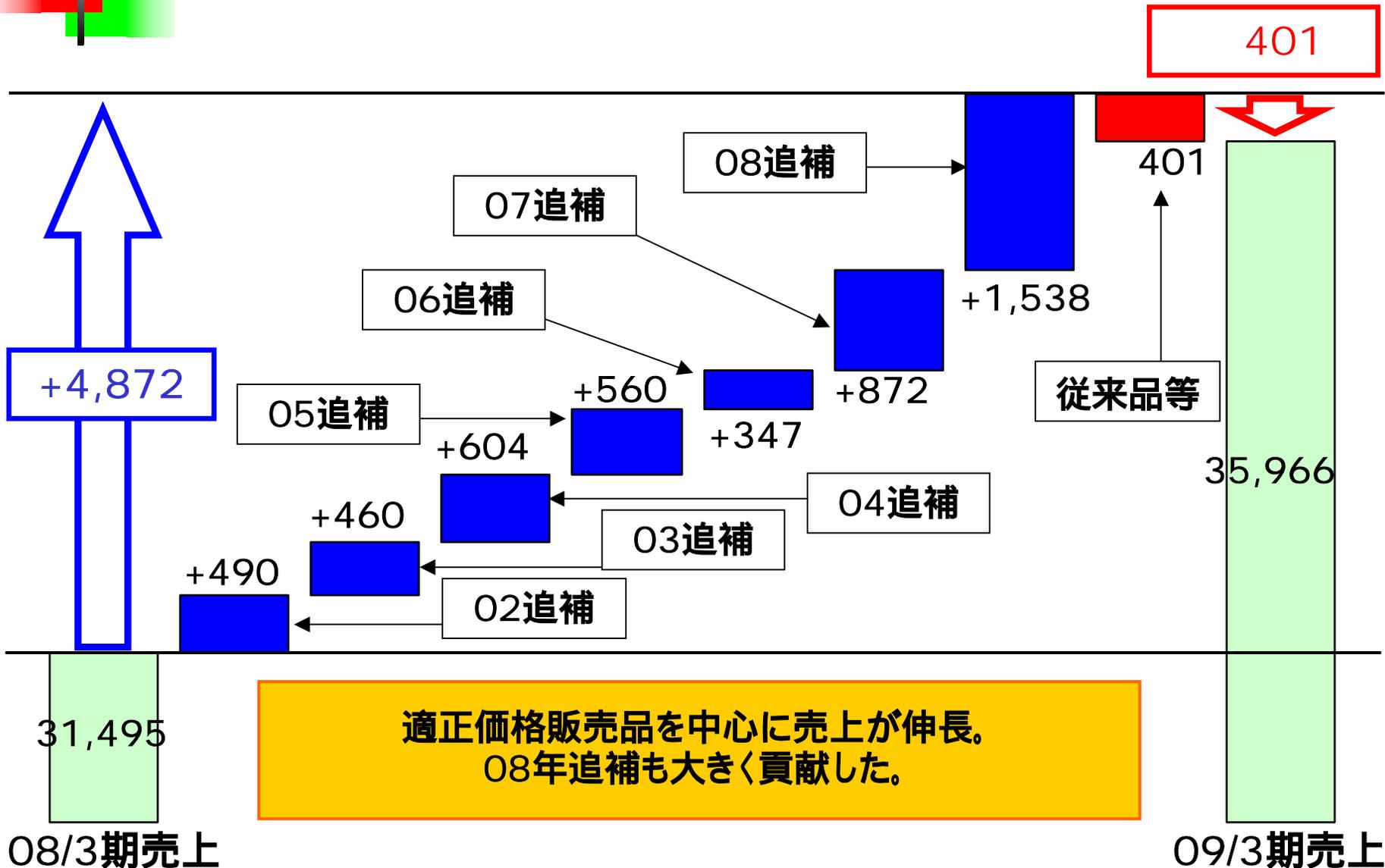


2009年3月期業績概要

	09/3期			08/3期	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	前年同期比 (百万円、%)	金額	対売上高比率 (%)
売上高	35,966	-	+4,471 (+14.2)	31,495	-
売上総利益	17,620	49.0	+2,644 (+17.7)	14,976	47.6
販管費	11,212	31.2	+1,522 (+15.7)	9,690	30.8
営業利益	6,408	17.8	+1,122 (+21.2)	5,285	16.8
経常利益	6,682	18.6	+1,536 (+29.8)	5,146	16.3
当期純利益	3,777	10.5	+1,084 (+40.3)	2,692	8.6

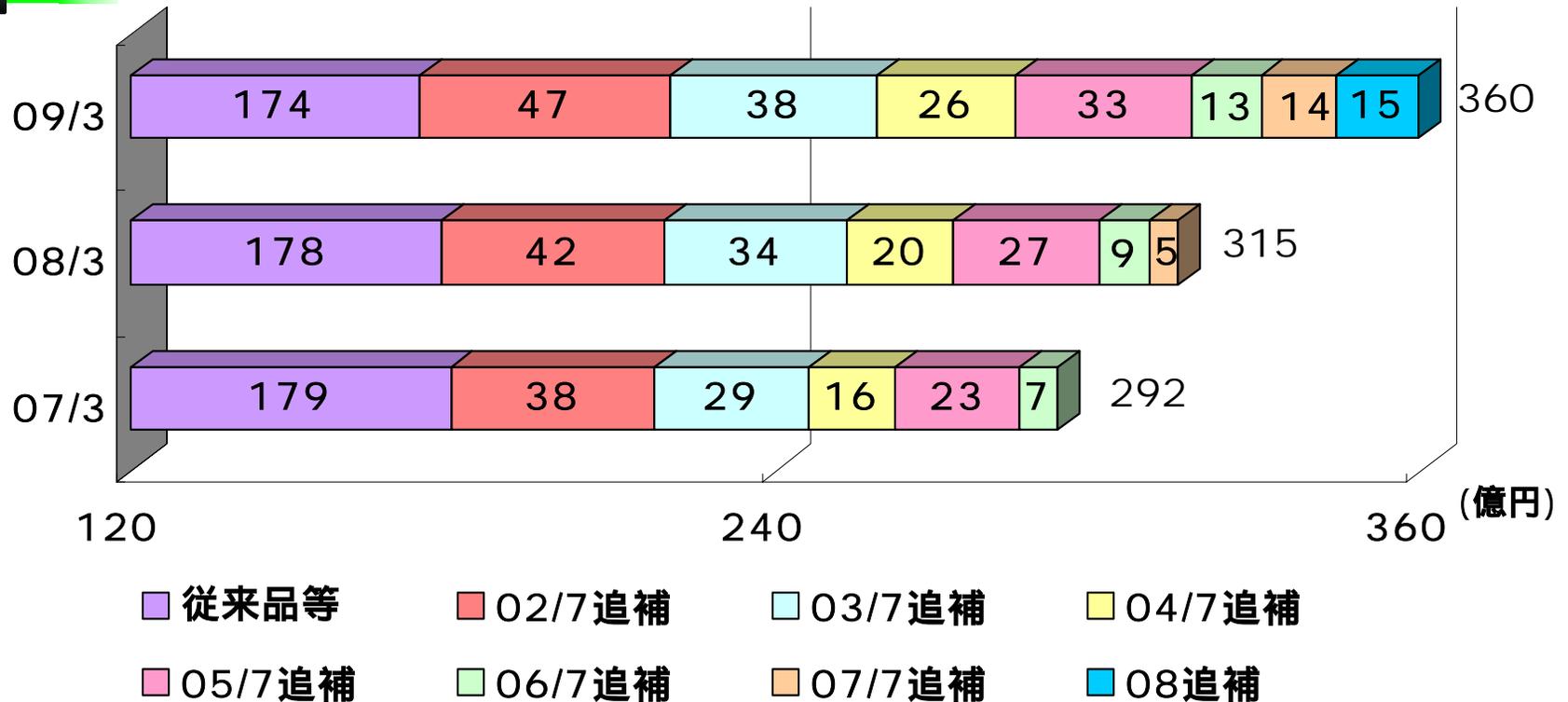
売上高増減分析

(単位:百万円)



適正価格販売品を中心に売上が伸長。
08年追補も大きく貢献した。

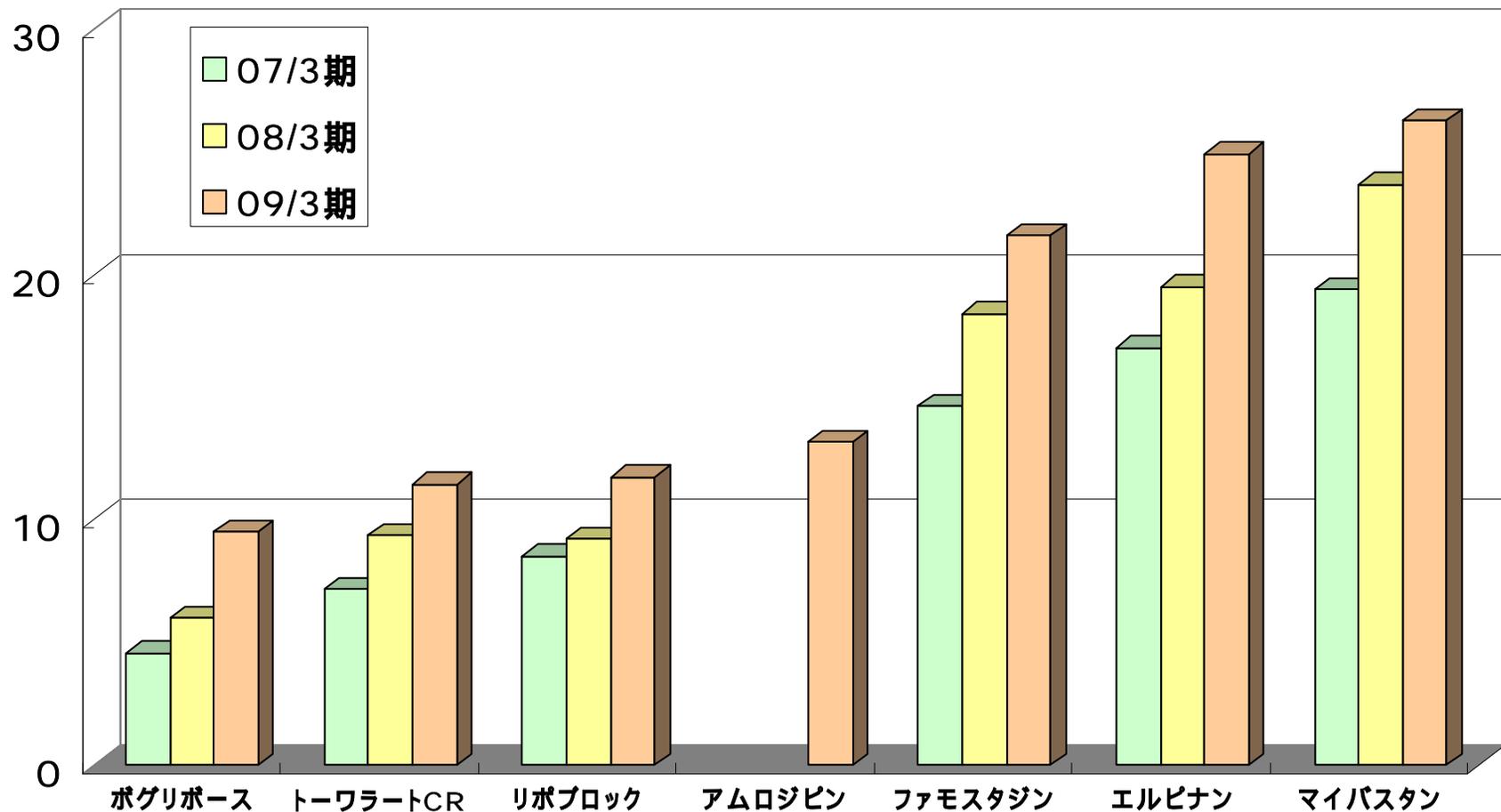
追補年度別売上高推移



- 08年度追補は、予算11億円に対して+ 4億円。アムロジピンの貢献が大きい。
- 02～07年度追補は、着実に伸長。
- 従来品等は、他社商品が減少している。

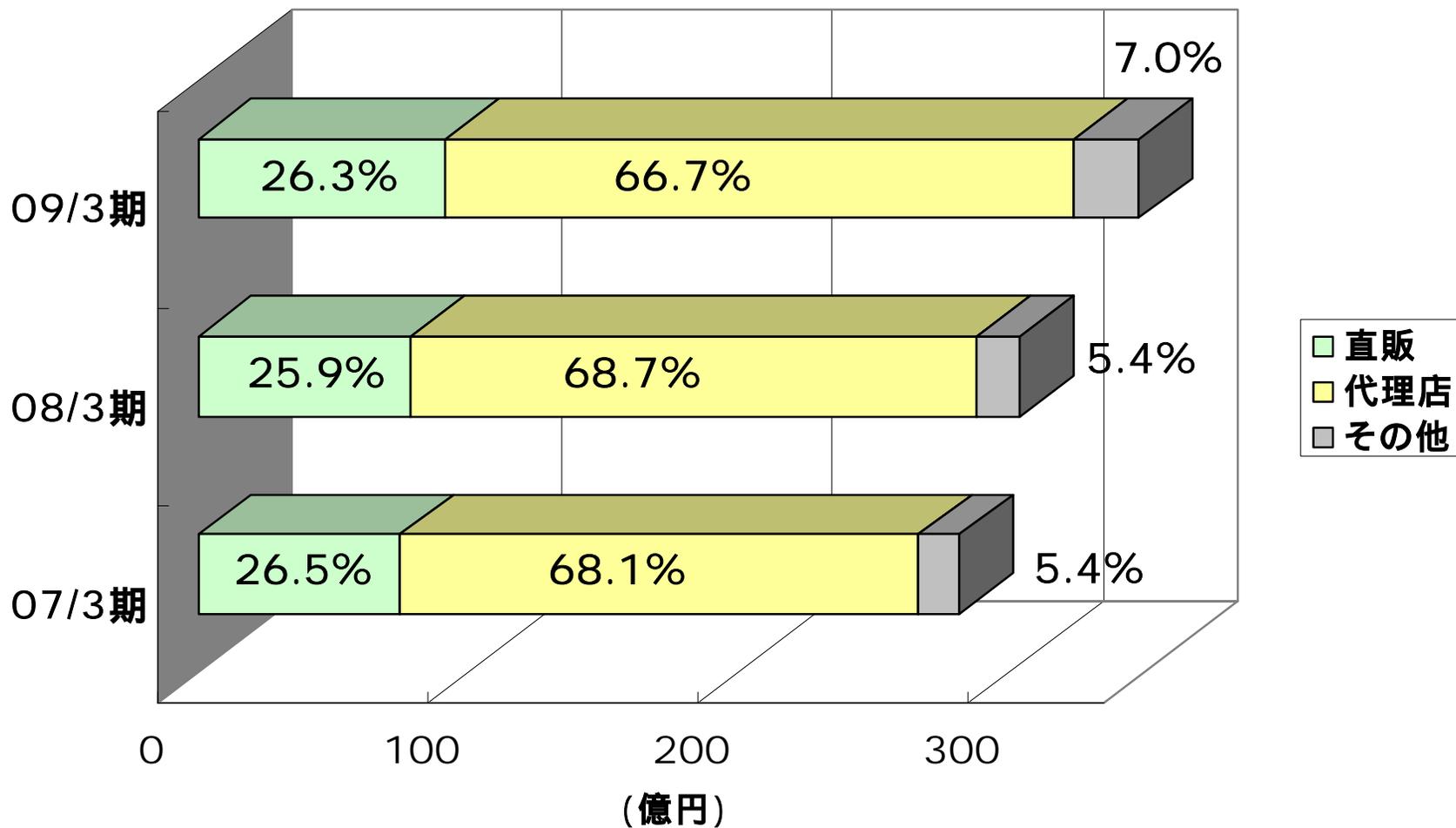
主要品目の売上推移

(億円)



売上高詳細(販路別)

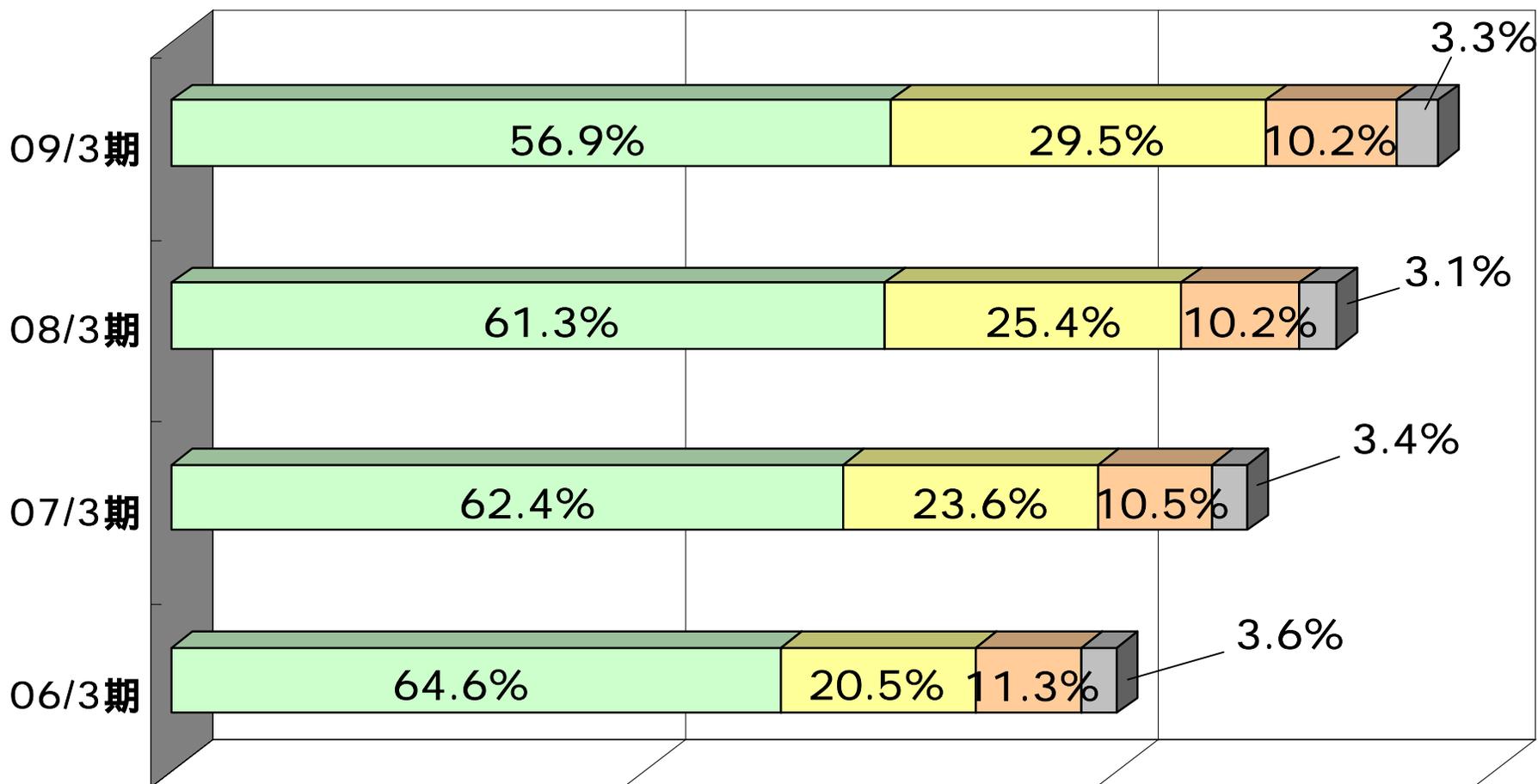
(単体)



売上高詳細(納入先別)

(単体)

■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院 ■ その他



販管費

(単位:百万円)

	09/3期	
	実績	前期比 増 減
人 件 費 (前年同期)	5,551 (4,897)	+ 653
研 究 開 発 費 (前年同期)	2,319 (1,693)	+ 626
広 告 宣 伝 費 (前年同期)	775 (793)	18
そ の 他 (前年同期)	2,566 (2,306)	+ 260
合 計 (前年同期)	11,212 (9,690)	+1,522

人件費の増加

- 新卒・中途者の積極採用のため

研究開発費の増加

- 通常の新製品開発に加え、全規格対応品の申請費用、開発の前倒し着手などが増加要因

広告宣伝費は微減

- TVCMの継続

売上増に伴う諸経費の増加

営業外収支及び特別損益

(単位:百万円)

	09/3期	08/3期
売上高	35,966	31,495
売上総利益	17,620	14,976
販管費	11,212	9,690
営業利益	6,408	5,285
営業外収益	325	351
スワップ評価益	103	0
営業外費用	51	490
スワップ評価損	0	418
経常利益	6,682	5,146
特別利益	307	48
退職給付制度終了益	231	0
特別損失	746	619
投資有価証券評価損	345	402
減損損失	271	177
当期純利益	3,777	2,692

- スワップ評価益103百万円を計上

円相場

08年3月末 99.19円/\$

09年3月末 97.23円/\$

確定拠出年金制度導入に伴う

投資有価証券の減損処理

岡山工場建設予定地の減損処理

貸借対照表

(単位:百万円)

	09/3末	08/3末	増減額
現金及び預金	2,912	757	+2,155
売上債権	13,902	12,342	+1,559
有価証券	512	1,414	901
たな卸資産	9,435	9,366	+69
スワップ資産	329	225	+103
その他	1,318	1,072	+246
流動資産合計	28,410	25,177	+3,233
固定資産合計	19,828	19,889	61
資産合計	48,238	45,066	+3,172

売上増加分

余資運用の減少

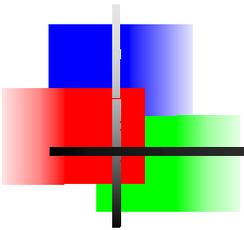
売上増加に合わせて製品在庫は増加。生産計画の精度向上等で、原料、仕掛品の在庫を抑制

仕入債務	4,330	4,479	148
その他	4,912	4,559	+353
流動負債合計	9,242	9,038	+204
固定負債合計	950	1,090	139
負債合計	10,193	10,128	+64
純資産合計	38,045	34,938	+3,107
負債・資本合計	48,238	45,066	+3,172

原料在庫の水準低下による

未払法人税等の増加

. 2010年3月期見通し



2010年3月期計画

(単位:百万円、%)

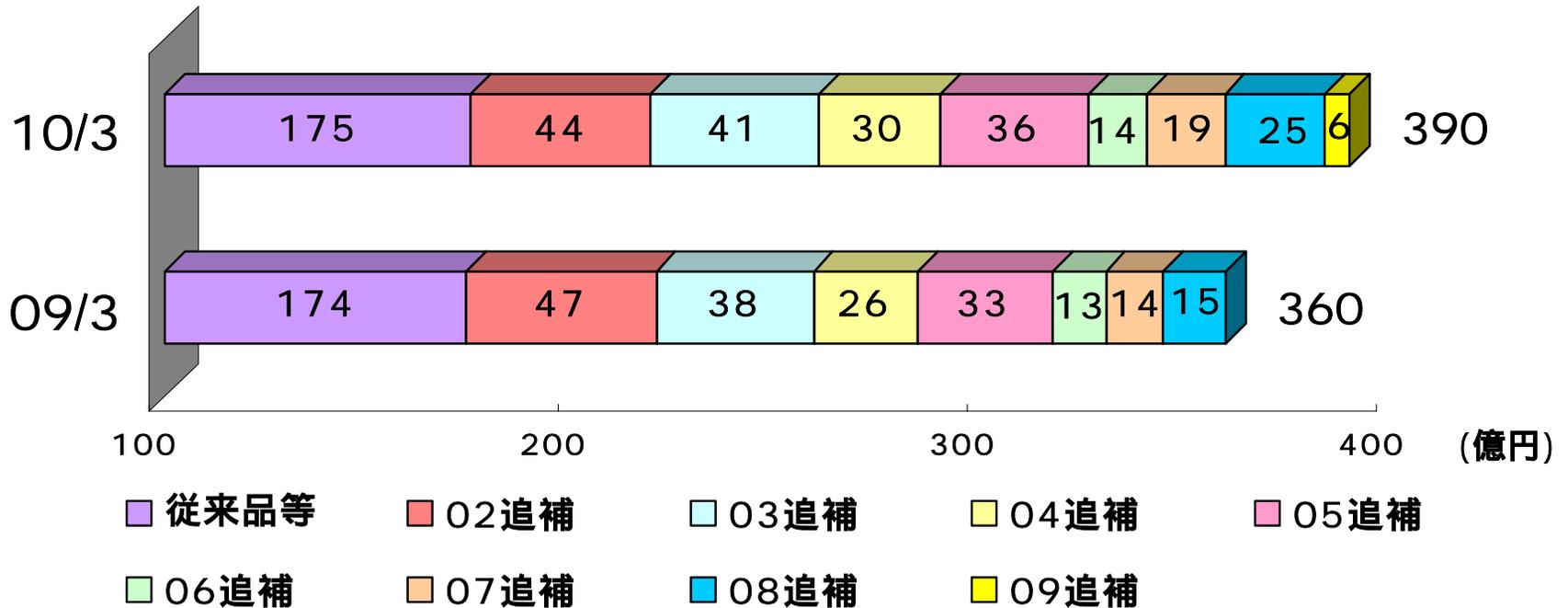
	10/3期(計画)			09/3期	
	金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率
売上高	39,000	-	+8.4	35,966	-
営業利益	7,400	19.0	+15.5	6,408	17.8
経常利益	7,500	19.2	+12.2	6,682	18.6
当期純利益	4,500	11.5	+19.1	3,777	10.5

2010年3月期計画(中計比)

(単位:百万円、%)

	10/3期(計画)			中計	
	金額	対売上 高比率	中計比	金額	対売上 高比率
売 上 高	39,000	-	+4.0	37,500	-
営 業 利 益	7,400	19.0	+7.2	6,900	17.0
経 常 利 益	7,500	19.2	+5.6	7,100	17.6
当 期 純 利 益	4,500	11.5	+5.6	4,260	10.6

追補年度別売上見込



- 09年追補は、5月に14品目、11月に20～30品目程度を上市予定
- 08年追補は、アムロジピンのさらなる拡売をはかる
- 03～07年追補は、重点品目を中心に微増
- 従来品等、02年追補は、ほぼ横ばい

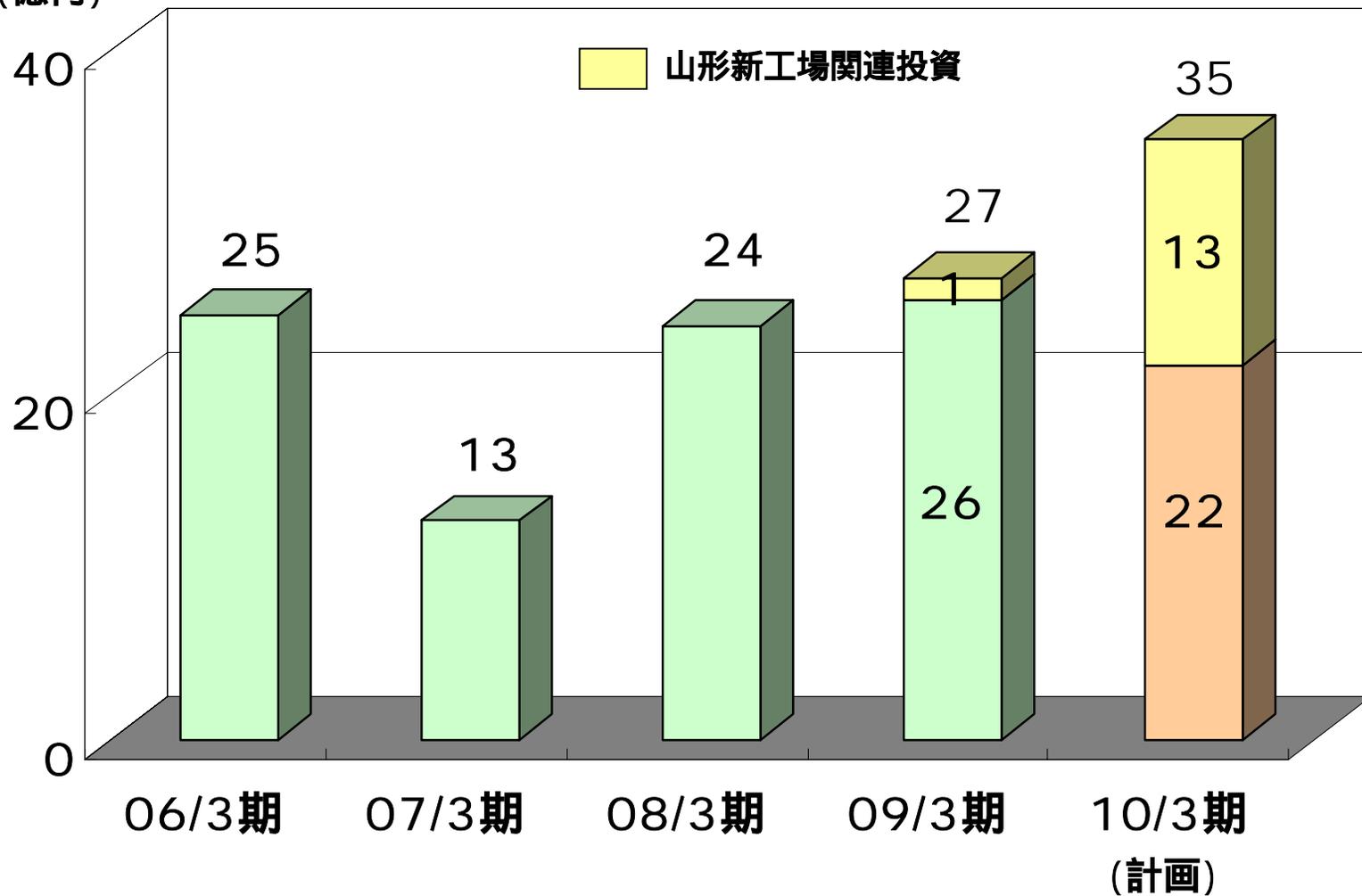
主な5月上市予定品

(単位:億円)

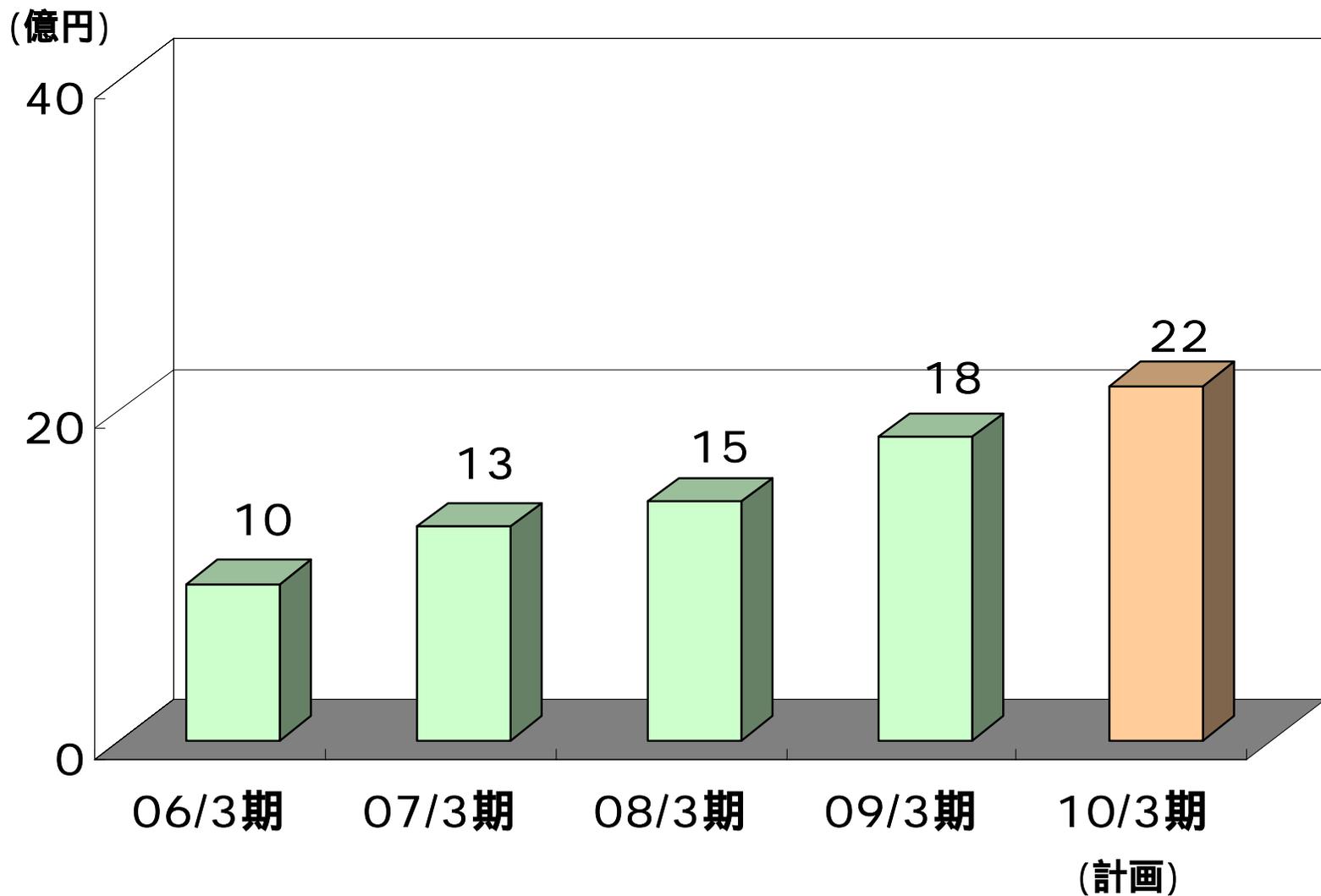
販売名	先発名	08年先発 販売実績
ランソプラゾールOD錠15mg「トーワ」	タケプロンOD錠15	464
ランソプラゾールOD錠30mg「トーワ」	タケプロンOD錠30	159
レボフロキサシン錠100mg「トーワ」	クラビット錠	478
セフニール細粒小児用10%	セフゾン細粒小児用10%	44
フルチカゾン点鼻液50 μ g「トーワ」56噴霧用	フルナーゼ点鼻液 50 μ g56噴霧用	40
ほか、9品目		

設備投資計画

(億円)

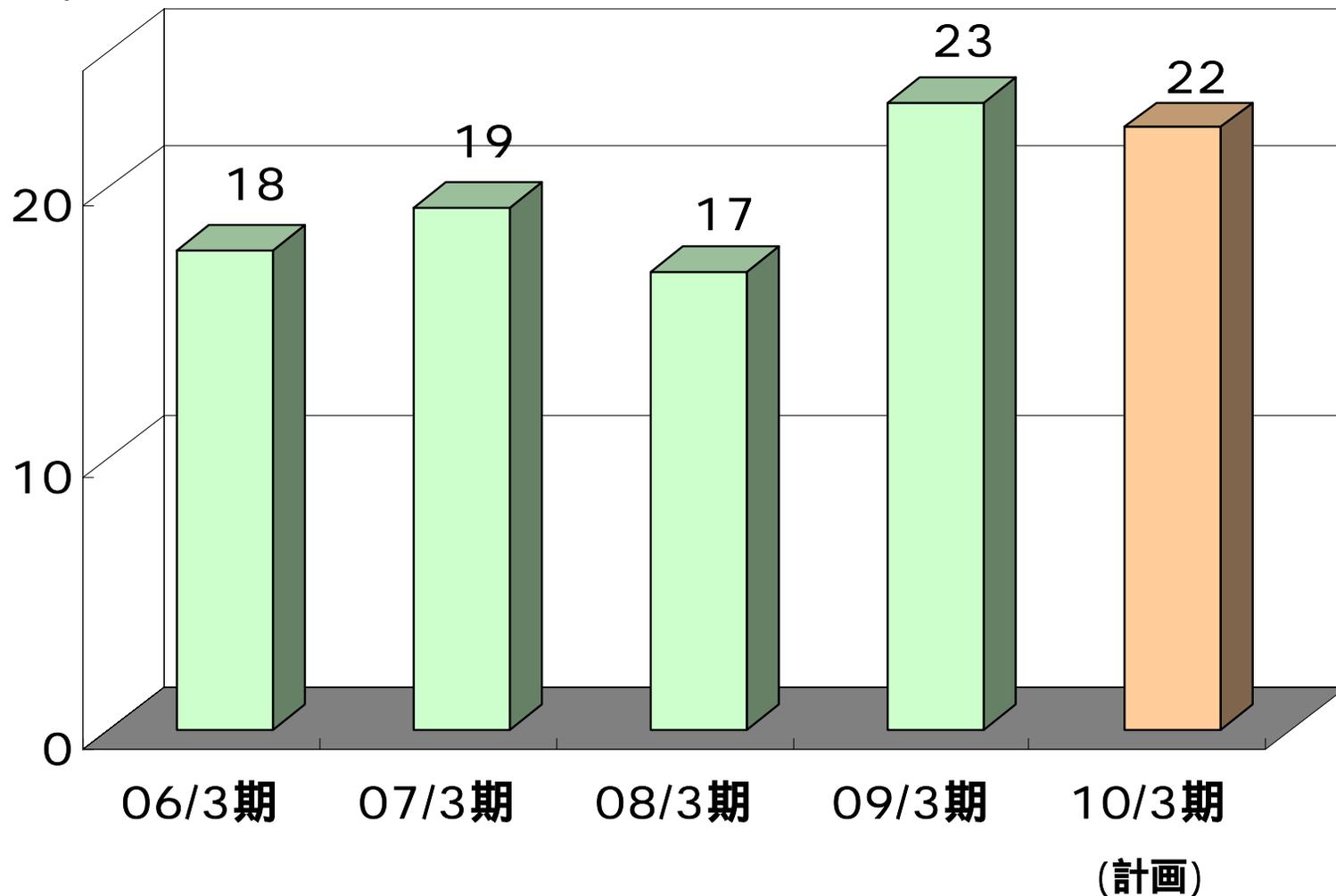


減価償却費

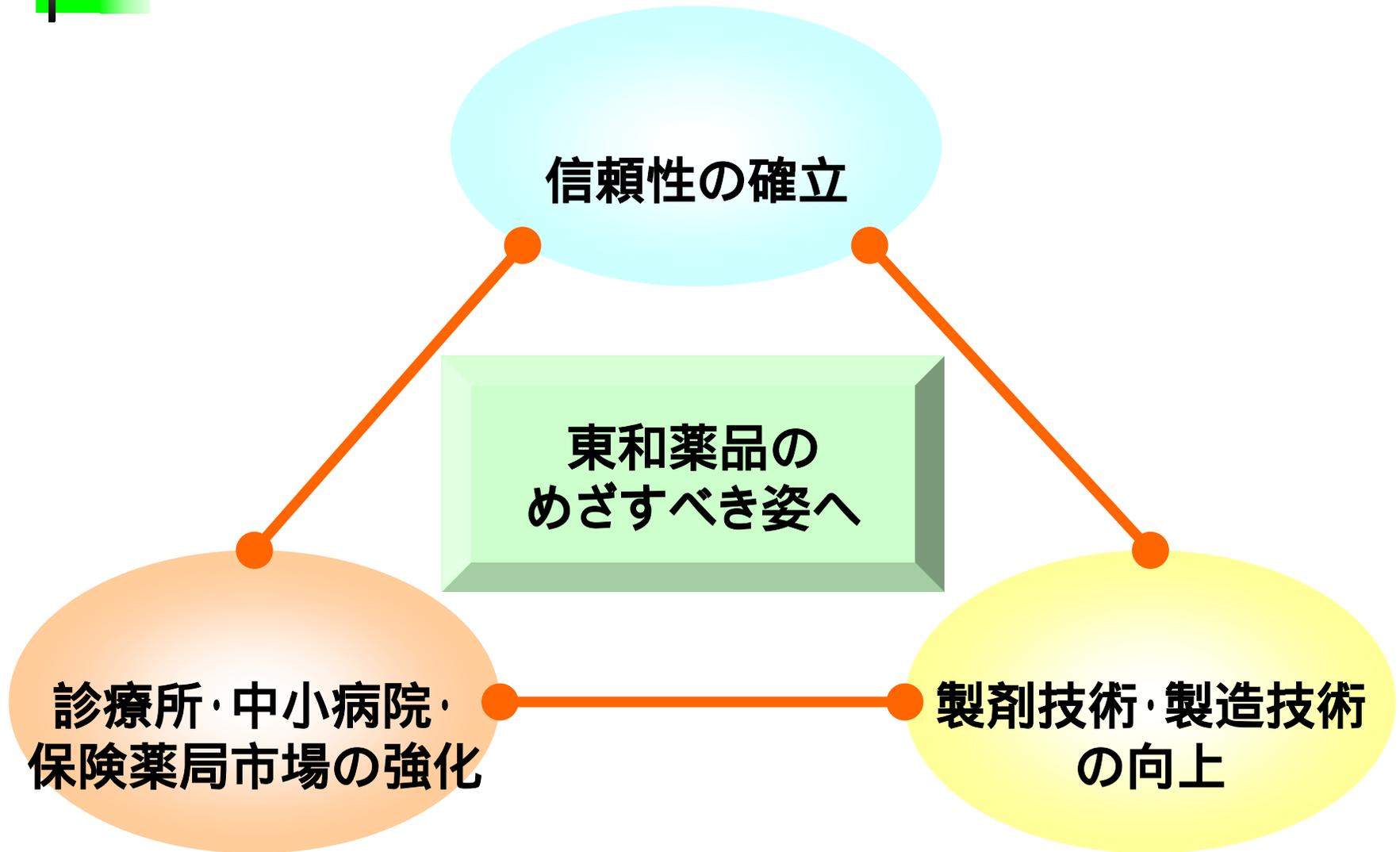


研究開発費

(億円)



中期経営計画の主要取組み課題

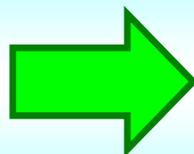


主要課題

信頼性の確立

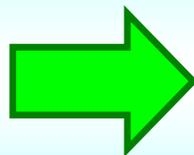
08年度施策

社内外からの問い合わせに対する
提供情報管理の強化



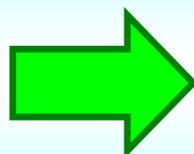
医薬情報部の新設
(08年10月)

自主品質基準による
試験データの取り揃え



製品信頼性向上支援
プロジェクト
(08年4月～)

安定供給の確保
(生産計画改善、
信頼できる原薬供給元確保)



原薬2社購買検討
製品在庫水準引上げ

主要課題

診療所・中小病院・
保険薬局市場の強化

08年度施策

診療所・中小病院・保険薬局
をさらに強化・拡大

適正価格販売の継続

代理店・営業所網の整備

代理店連携システム導入

大病院市場は、
DPC準備病院・自治体病院
を中心に市場開拓

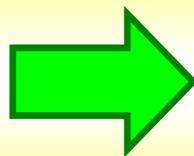
病院部の活動強化

主要課題

製剤技術・製造技術 の向上

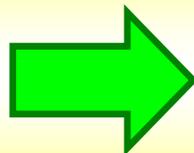
08年度施策

製造コストを意識した
製剤設計
(付加価値/基準処方の共通化)



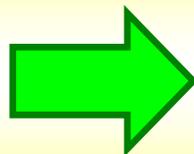
RACTAB技術の確立
(既存設備で製造可能な口腔内
崩壊錠の基本設計を確立)

顧客満足度向上のための
製品改良



製品信頼性向上支援
プロジェクト
(08年4月～)

各工場の特徴づけによる
設備投資や機能整備



山形新工場建設
(12年3月までに本格稼動)
大分工場閉鎖(09年1月)

山形新工場について

・基本コンセプト

- 無菌製剤と固形製剤の一般および高活性製剤を製造する工場
- 国際標準対応で信頼される品質の製品を製造する工場
- 効率的な生産機能とコスト競争力を持つ工場
- 人・地域・環境に配慮した工場
- 将来の拡張性を考慮した工場

・概要

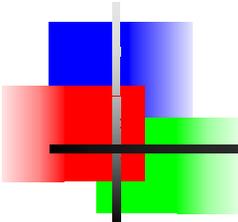
面積：敷地 108,330m²、延床 30,000m²

場所：蔵王フロンティア工業団地(上山競馬場跡)

工期：09年6月～(12年3月までに本格稼動)

投資額：約200億円

生産能力：内用薬 25億錠・カプセル、注射薬 5,000万本
(同敷地内に配送センターも併設)



< お問い合わせ先 >

東和薬品株式会社 経営企画部

TEL : 06-6900-9101
FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。